

2 コラム RAMPWAY  
泉 麻人

特集 これからのリーダー像

5 美意識の経営  
一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授  
楠木 建

9 いかに自主性を引き出すか  
青山学院大学 陸上競技部 長距離ブロック監督  
原 晋

12 ぶら〜り首都高めぐりの旅  
湾岸線千葉方面の巻

13 CHALLENGE  
VRを活用した防災対策

14 Taste of the Season  
森下典子

16 首都高HEADLINE

18 BUSINESS ESSAY  
偉大な記録に挑むレーウとデシャン  
共同通信社 ベルリン支局 記者  
土屋健太郎

20 つくる人まもる人  
首都高メンテナンス東京(株) 齋藤由貴  
首都高メンテナンス神奈川(株) 大山昌子  
首都高技術(株) 佐藤聡子

22 高速百景 中野正貴

contents produced by  
Metropolitan Expressway Company Limited



illustration by Takao Nakagawa

column | RAMPWAY 33

首都高名所案内

平井大橋の  
向こうの旧市街

コラムニスト  
泉 麻人

荒川の上を走る首都高の中央環状線に平井大橋という出入口がある。平井大橋は首都高の下を横断する蔵前橋通りの橋の名だが、この橋が荒川（と隣接する中川）に架設されたのは昭和40年代に入ってからのことだから、割合と新しい。そんな平井大橋の真下に「葛飾あらかわ水辺公園」という緑地がある。ここ、前々から足を踏み入れたいと思っていた。

向こうにスカイツリーがぼつんと見える遠景などはなかなかオツなものがある。広々とした荒川の領域を渡ると平井の町に入る。平井は蟲貞の喫茶店があるので、けっこうよく来る町なのだが、スマホのマップをふと見ると、橋を渡って右方へ上っていった路地裏に「旧平井村役場跡地」なんてのが表示されている。役場の古い建物は残っていないにせよ、石碑のひとつでもあるのだから……と思っ行って行ってみたら、表示地点にはただの民家が存在するだけで村役場のゆかりらしきものはまるでない。スマホのマップ（グーグル）というのは、時折こういう妙にコアな案内が示されていたりするの不思議だ（古地図アプリで確認したところ、村役場の位置に誤りはないようだった）。

このあたりは道筋が袋状に巻いていて、農村時代の平井の面影が感じられる。20年ほど前に取材したことがあったが、上平井と呼ばれた界隈は着物の洗髪や髪の毛のシャンプーに使われた「ふのり」を生産する農家が多かったのだ。くねくね道を歩いていくと、前にも何度か散歩した弁天通りの一角に出くわした。安養寺という寺の境内に置かれ

新小岩の方から歩いてくると、橋はまず中川を渡るが、そのすぐ先の首都高のたもとから公園に入ることができ。公園といっても遊具などはない川際の草原で、所々に洪水などで生じた小池（湾処と呼ぶらしい）が見受けられる。案内板によるとギンヤンマのヤゴなんか棲息するらしいけれど、捨てられたゴミで水辺がかなり汚されているのが残念だ。しかし、ヨシの原の

た弁財天の門前を意味する名称だが、ひっそりとした商店街に「弁天通り」と記した黄色い素朴な看板が並んだ景色が気に入っている。蔵前橋通りを渡って、総武線の線路近くの横道にある「ぼうや商店」の消息を確認した。この模型屋のような菓子屋のような平屋建ての商店、もう何年も前から廃屋状態なのだが、いまだブリキ看板を残したまま健在なのを目に留めてホッとした。

そして、平井駅の方へと進んで、馴染みの喫茶店・ワンモアに立ち寄る。お高い感じの珈琲専門店でもイマドキのカフェ調でもない、まさに平凡な町喫茶という佇まいにして、ここのベテランマスターがいれる濃い口の珈琲も軽食もウマイ。近頃、ホットケーキの名店として評判が広まっているけれど、僕のイチオシはサンドウィッチ。お昼にはちよつと早い11時、ハムと玉子のサンドウィッチをつまみつつ珈琲を味わって平井散歩の締めとした。

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、フリーのコラムニスト。近著に『東京いい道、しぶい道』（中公新書ラクレ）がある。